

小学校2年 生活科 タブレット端末を活用して まちのひとたちと豊かに交流する

～「おばけの学校たんけんだん」を活用して～

東京都港区立高輪台小学校 田端 芳恵

【実践報告の概要】

小学校2年生活科「もっともっとまちたんけん」の学習において、NHK for School「おばけの学校たんけんだん」を活用することで、実際にまち探検を行う上での視点やインタビューの内容・方法について具体的なイメージを膨らませたり、活動への意欲を高めたりした実践である。具体的な活動では、コロナウイルス感染症対策のため、直接見学することやインタビューができないため、録画された映像を通して「見学」や地域の方々への質問とその回答をタブレット端末を介してやり取りした。子どもたちは、地域の方々との間接的な交流ではあったが、リアリティのある映像を通して、自分たちのまちのよさやひみつを発見し、自分の生活がまちや人々の営みと深くかかわっていることに気づき、番組を参考にポスター作りを通して学びを交流した。

【取組の具体】

- 「まちをはっけん大はっけん」(全9時間)

自分たちの身の回りの地域を見直し、すてきだなと思うことや不思議だなと思うことを探して伝え合う。
- 「もっともっとまちたんけん」(全17時間)

(第1時)

第6回「まちのすてきを見つけよう」を視聴し、行ってみたい場所や会いたい人を出し合う活動を通して、地域のことをもっと知りたいという意欲を高める。

(第3時)

 - ・子ども達が行ってみたい場所を中心に、まちを探検する。

※コロナ禍のため、お店や施設の中に入って見学したりインタビューしたりすることが難しいため、教員が撮影してきた動画を参考に「疑問に思ったこと・聞いてみたいこと」をタブレットで撮影した。
 - ・外からの見学の形となったが、お店や施設や働く方々の様子を写真に撮り、発見したことをメモに取る。

(第5時)

 - ・見学後は、番組視聴をもとに発見したことの分類と関連付けを行う。

(第7時)

 - ・自分たちがさらに知りたいと思ったことや疑問に思ったことを出し合い、分類して質問内容をまとめる。それを質問動画として撮影し、店や施設の方に見ていただき、同じように動画で質問に答えてもらう。質問のしかたのイメージは番組からヒントをもらう。

(第10時)

 - ・回答していただいた動画を視聴し、映像から伝わることや説明していただいたことで、さらに「まちのすてき」を発見した。
 - ・学んだことをどのようにまとめるかを考えるために、再度番組を視聴する。自分たちの町探検と番組の町探検を比べて、見つけた「すてき」をまとめて伝えるための視点(表現方法；番組ではリーフレット、本学級ではポスターとした)を明らかにした。
 - ・他のクラスや1年生に、そのお店のよさや特長を「ポスター」にまとめて発表する。

【活用番組と実践者による番組分析】

「おばけの学校たんけんだん」

『まちのすてきを見つけよう』『大すき！みんなの図書かん』

「しまった！情報活用スキルアップ」『調べる インタビュー』

「おばけの学校たんけんだん」は、身近な自然や社会、町や地域の人々とかかわる中で、子どもたちに気づかせたい事柄やものの見方・考え方をわかりやすく提示している。また、毎回の活動内容に合わせた表現方法を取り上げており、自分たちの気づきや学びを分かりやすく伝えるにはどのようにすればよいのかを具体的にイメージさせてくれることで、主体的に学習に向かう意欲を喚起させてくれる番組ととらえている。

【本実践における工夫点】

一斉視聴と個別視聴のよさを生かす

一斉視聴では、視聴中のつぶやきや視聴後の話し合いを通して「まち探検」への意欲を高めたり、見学の具体的な計画を共有したりすることができた。個別視聴では、個々の課題意識や疑問点に基づいて、再視聴や部分視聴を行うことで自己解決や自分らしい学びのスタートとした。

タブレット端末の活用

コロナ禍において、お店や施設の中に実際に入って見学したりインタビューしたりすることはできなかった。そこで、情報の記録、まとめ、発信などにタブレット端末を主としてコミュニケーションツールとして活用した。実際、子どもたちは働く人の様子を撮影したり、発見したこと、気付いたことをメモに取ったりした。

見学後は、自分たちがさらに知りたいと思ったことや疑問に思ったことを出し合い、分類して、質問内容をまとめ、それを動画で撮影してお店や施設の方に見ていただいた。お店や施設の方からの質問の答えも動画でいただいた。

【本実践の成果と課題】

番組視聴は、子どもたちの「まち探検」に対する意欲を喚起し、学習に対する見通しをもつことにつながった。また第5回『大すき！みんなの図書かん』のパンフレット制作は、ポスター作りにおいてのポイントを掴むことにつながった。さらに、「しまった！情報活用スキルアップ」の活用によって、実際にインタビューする場面を想定し、質問する事柄を考えることにつながることができ、動画作成に役立てることができた。教師は、個々の学習課題に対して適切な番組を、効果的に活用することで子どもたちの学びをより深めることができると考える。

タブレット端末の活用によって、使いたい見たい番組を子どもたちが自身が検索して視聴することが可能になっていることで、個が主体となって学びを進め広げることができ、教師は指導に生かしたいと考えた。一斉視聴で単元の課題づくりを行い、問題追究の際にはタブレット端末を活用することで、2年生なりに個々の問題意識や追究したい事柄で調べることができた。子どもたちは、この学習を通して高輪という「まち」についての思いや理解を深めただけでなく、タブレット端末を活用して伝えることや情報を収集すること、友達と協働して学ぶことのよさを学ぶことができた。

